

令和7年4月25日(金)

50th
ANNIVERSARY



雨が降ったり、晴れて暑くなったりして、体調管理が難しい時期になってきました。疲れが取れにくい生徒もいるのではないのでしょうか。もう少しでゴールデンウィークになるので、そこで一息つけようと思います。年度当初は、何かと気疲れもあります。ご家庭でもお子様の健康状態をよく見ていただければと思います。

さて、県学調もいよいよ最終日となり、今日は3年生が取り組んでいました。3年生にもなると、タブレットの扱いも安心してみていられます。みんなしっかりと取り組んでいました。



これから3つの話題はいずれも1年生です。

数学の授業では、正負の数について学習していました。負の数、つまりマイナスについては、気温計などで小学生のころから日常的に触れてきているので、生徒にとっては、それほど抵抗感のある概念ではありません。本時は、数直線を用いて負の数の概念を学んでいました。写真は、練習問題に取り組んでいるようすです。立ち歩いているのは、行儀が悪いからではありません。早く解けた生徒は、先生に○をつけてもらい、その生徒はミニ先生になって、さらに他の生徒に○をつけたり、アドバイスしたりしているのです。いわゆる、教え合いの場面ということになります。早くできた生徒は、他の生徒にアドバイスすることによって自分の理解を一層深めたり、わからない子は気軽に質問できたりします。



理科室では、顕微鏡を使って水の中に棲む微生物の観察を行っていました。倍率は、70倍という低倍率での観察です。生徒たちは、レンズを通してミジンコなどを見つけ、「ぎゃー、動いてる！」などと大興奮でした。見つけた微生物は、ワークシートにスケッチしていきます。片目はレンズ、もう片目はワークシートを見ながらスケッチしていきます。なれないと難しい作業ですが、中には上手にこなす生徒もいます。私が、各グループの活動を眺めていると、ある生徒が「校長先生も見ませんか？」と笑顔で声をかけてくれました。お言葉に甘えてレンズをのぞかせてもらおうと、ミジンコの姿が確認できました。ちなみにミジンコは、甲殻類に属しており、エビ・カニの仲間です。



体育館では、大縄跳び（並び飛び）の練習をしていました。来月の体育祭では、この競技で大いに盛り上がるのが本校の伝統です。人数が多いので、全員で息を合わせることが大変。また、回し手二人のあうんの呼吸も大切になってきます。最初は、1回飛ぶこともままならないのですが、みんなで声を掛け合い練習を重ねることで、気持ちも重なります。生徒の成長が楽しい競技です。

